

QOL向上へ知恵出し



建設コンサルタツ協会

會長廣谷彰彦氏

わが国の社会資本は、一定の水準の整備が行なわれているものの、今後も安全・安心を確保し、安定した生活をおくるためには、更なる社会資本の充実が求められる。建設コンサルタンツ協会の廣谷彰彦会長に、社会資本の現状や、今後の建設コンサルタントの役割などについて聞いた。

社会資本の状況

[illegible]

海外との比較

智、国際コンサルティング・エンジニア

安全安心確保に一層貢献

ア連盟の年次総会がロンドンで開かれ、参加しました。ロンドンでは、以前私が働いていた所でもあり、友人が居ます。その自任に呼ばれてみると、向こうは石造り、煙突造りの建物が多いため、内部を改装して居住にむけたり使っています。

アピールの変化

[illegible]

社会の変化
にも対応

建設コンサル タントの役割

な言い方がなされている訳ですが、これらに対するアピールが必要だと考えています。

社會資本本校の知能性を同一層階級の必要がある以上、もと我々は知能を比較することがあるはずだ。

その、知能を察するといふところで、建設三ツサタラの働きの為が、走たあるあるを思ふていま。これは新環境型に向ける、貴職と我々手とを、新環境型と三型安定型の社会をより上げれば、はけなないことなら、それに対するインプットを出して、きた。もと我々のがであるのではなく、思いを持てたのである、新たな體も今まで以上に取組む対応してゐます。

海外展開

街中の通り一つを整備するにしても、どのように整備するかを自治体に働きかけ、支援を行ない、よりよい整備となるようにするために、様々な知恵出しを行なうって、国民のQOLを高めるためのサポートをする。このような建設コンサルタントの役割というのは、まだまだ増えていくと、思っています。

[illegible]

いのは設計が主という捉えられ方をしているが、海防の設計コンサルタントに於ける役割については、設計だけでなく、その後の設備にかつものは、建設だけでなく、工事契約が工事方式を支える要素として、工事契約が工事方式に入札を要する業務、工事契約が工事方式の後の工事監督管理する。さらに、建設が完了した後の設備の維持、補修、管理オペレーションなど、コンサルタントの部分も建設コンサルタントが担当する。このようにプロジェクトの上流から下流までを建設コンサルタントが関与するといえるが、本来建設コンサルタントで、このように業務がこなすことができない、人材を育成することが課題となり得ます。

め、海外の建設にサルタンと提携せざるを得ず、建設にサルタントが主体となっているを示し、ユームや売土が増えていることがわかりました。企業は盛況であるにもかかわらず、このことは、兄弟をえれば、海外マーケットに進出すれば協同の機会があると思ふ。たゞ、非常な激烈な戦いになるであろう。